

# 成果報告書

2014年4月8日  
総合文化研究科 地域文化研究専攻  
博士課程2年 真辺 祐子（東南アジア）

研究テーマ：タイ南部国境地域における人権侵害被害者への補償政策の社会学的考察

この度、「平成25年度卓越した大学院拠点形成支援補助金」による海外研究活動支援を受け、2014年3月26日～30日にタイ・バンコクにて資料収集及びチュラロンコーン大学教授との面談を行いました。現地での滞在は2.5日間と、非常に限られた時間でしたが、効率的に資料収集を行うことができました。

3月27日は、チュラロンコーン大学中央図書館にて、資料収集を行いました。具体的には、タイの公務員の不法行為に対する行政裁判に関する論文・行政裁判所による解説書、研究対象である南部国境地域の歴史学に関する書籍を複製しました。タイの図書館では、コピーをその場で行ってくれるスタッフがいます。デポジットを払い、たいていの分量であればその日中に受け取ることができます。今回は滞在が短かったため、3冊を複製依頼しました。その他の書籍・雑誌は閲覧をし、今後の研究のための情報収集を行いました。

3月28日は、チュラロンコーン大学政治学部のパニッタン・ワッタナゴーン先生に面会しました。先生は、アピシット政権時に政策についてのアドバイザーをされており、私の研究対象である南部国境問題に関しても当時の政権の南部政策を方向付けた方です。同教授のもとを訪問していた各国の研究者との情報交換、今後の研究についての方向性の確認等を行いました。

3月29日は、最終日及び土曜日のため、バンコク内の書店での書籍の収集を主に行いました。これについては、南部国境地域に限らず、タイ政治一般の本を購入しました。

以上の行程で、日本では入手が困難な英語・タイ語による資料・情報を収集しました。これらが、今後の研究における分析を助ける資料となります。

最後になりましたが、今回出張に先立ち、バンコクの政治情勢の不安定化により参加予定シンポジウムの中止が決定しました。それにより、急遽計画変更を余儀なくされましたが、このように資料収集のためにバンコクに出向くことを快諾していただいた海外研究支援関係者の皆様に心より感謝申し上げます。